

※ 必ずP.4-10を確認し、希望科目(レベル)を選択してください。

2025年度短期日本語集中プログラム

プログラム案内 冬コース

早稲田大学日本語教育研究センター
Center for Japanese Language

« 問合せ先 »

早稲田大学日本語教育研究センター

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-7-14

【電話】03-3208-0477 ※土日祝、一斉休業期間を除く9:00~17:00

【問い合わせフォーム】<https://forms.office.com/r/SaNLH5c0Yi>

【ウェブサイト】<http://www.waseda.jp/inst/cjl/>



*The English version is here

1. プログラム概観

短期日本語集中プログラムは、早稲田大学日本語教育研究センターによって設置・運営されています。本プログラムでは、日本語、日本文化に興味をもち、旺盛な知的好奇心と高い勉学意欲を備えた学生を迎え入れ、日本語を主体的に学び取ることができる学習機会を提供し、短期間で日本語の基礎的な能力を総合的に身に付けることを目指します。

2. 開講スケジュール



授業等実施日程：2025年12月4日～12月23日（下表のとおり）

日付 / Date			時間 / Time	内容 / Contents
12/4	木	Thu	10:30-11:30	開始前オリエンテーション / Pre-start Orientation
			13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-baseda lessons
12/5	金	Fri	13:10-16:45	授業（コミュニケーション活動） Class - communication activities
12/6	土	Sat		
12/7	日	Sun		
12/8	月	Mon	13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-baseda lessons
12/9	火	Tue		
12/10	水	Wed		授業（コミュニケーション活動） Class - communication activities
12/11	木	Thu		
12/12	金	Fri		
12/13	土	Sat		
12/14	日	Sun		
12/15	月	Mon	13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-baseda lessons
12/16	火	Tue		
12/17	水	Wed		授業（コミュニケーション活動） Class - communication activities
12/18	木	Thu		
12/19	金	Fri		
12/20	土	Sat		
12/21	日	Sun		
12/22	月	Mon	13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-baseda lessons
12/23	火	Tue	13:10-16:45	
			17:00-17:30	帰国前オリエンテーション / Pre-Return Orientation

※網掛けをしている日は授業を実施しません。
※成績発表予定日は2026年2月27日です。成績はMyWaseda上で確認してください。
2026年3月16日以降はMyWasedaを使用できなくなりますので、必ずそれまでに成績を確認してください。成績確認方法は、以下本センターウェブサイト掲載のとおりです。
<https://www.waseda.jp/inst/cjl/students/grade/>
※MyWasedaを使用できなくなったあとに成績を確認したい場合は、成績証明書(有料)の発行を本センターに申請してください。申請方法はプログラム開始後、別途案内します。



3. プログラム料（聴講料）



115,000円

※ 海外から日本に入国される本プログラム参加者のうち、希望者には入学手続き時に早稲田大学指定の海外旅行保険を紹介します。保険料は聴講料に含まれていないため、別途徴収します。詳細は合格者に送付する「入学手続きの手引き」を確認してください。

4. 住居・宿舎



宿舎の確保はご自身で行ってください。希望者は、本学の関連業者を通して宿舎の申込みをすることができます。各関連業者へ直接お申込みください。

- ・ 株式会社早稲田大学アカデミックソリューション（ホームステイ等）
- ・ 株式会社早稲田大学プロパティマネジメント 学生住宅センター（※最短1ヶ月以上、シェアハウス・マンスリーマンション等）
- ・ 早稲田大学生協住まい探しセンター（食事付き寮）
- ・ 株式会社 ダイバーシイズ [Homii]（ホームステイ等）

5. 開講科目



2025年度は3科目(3レベル)開講します。次ページ以降にて、各科目のレベルや内容等の詳細を事前によく確認し、出願時に希望科目を選択してください。希望科目(レベル)は一つしか選べません。慎重に選択してください。

科目名	概要
日本語（短期）入門	教科書を使って総合的に日本語を学習する科目 各科目の詳細はP.4-10にて確認してください。
日本語（短期）Ⅰ	
日本語（短期）Ⅱ	

科目名	レベル
日本語（短期）入門	CEFRA1 / 入門レベル
日本語（短期）Ⅰ	CEFRA2 / 初級前半レベル
日本語（短期）Ⅱ	CEFRA2.2 / 初級後半レベル

6. キャンパスツアー、イベント



2024年度の同プログラムでは、キャンパスツアーや早稲田大学の学生との交流イベントを実施しました。2025年度のイベント等については、決まり次第お知らせします。



希望科目(レベル)を一つ選択してください。

開講科目(レベル)一覧

かいこうかもく(レベル)いちらん

早稲田大学日本語教育研究センター
にほんご きょういく けんきゅう せんたー
Center for Japanese Language

※ The English version of this document is available on the following website.

<https://www.waseda.jp/inst/cjl/en/applicants/s-term/admission/>

(1) 日本語(短期)入門 / Japanese (Short-term) Beginner

ひらがな・カタカナの学習(がくしゅう)がおわたった人のための入門(にゅうもん)クラスです。教科書(きょうかしょ)をつかった授業(じゅぎょう)と、コミュニケーション活動(かつどう)の2種類(しゅるい)の授業(じゅぎょう)を行(おこな)います。

- 教科書(きょうかしょ)をつかった授業(じゅぎょう)では、「きく」「よむ」「はなす」「かく」の4技能(ぎのう)を総合的(そうごうてき)に学習(がくしゅう)します。練習(れんしゅう)やタスクをとおして日本語(にほんご)で「できること」をふやします。基本的(きほんてき)でかんたんなことばと文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)します。
- コミュニケーション活動(かつどう)では、毎週(まいしゅう)1回、日本語話者(にほんごわしゃ)といっしょにゲームや会話(かいわ)をします。

目標(もくひょう)、レベル / Objective, Level

レベル	CEFR A1 / CJL スタンダードズ 0(後半_こうはん) / 入門(にゅうもん)レベル
到達目標 (とうたつもくひょう)	1. あいさつをすることができる。 2. 自分(じぶん)のことをかんたんに話(はな)すことができる。 3. 自分(じぶん)のスケジュールについて話(はな)すことができる。 4. 休(やす)みに何をしたかかんたんに話(はな)すことができる。
プログラムの じゅこう ひつよう 受講に必要な にほんごのうりよく 日本語能力	✓ ひらがなとカタカナを読(よ)んで書(か)くことができます。 ※ 初(はじ)めて日本語(にほんご)を学習(がくしゅう)する方(かた)向(む)けのプログラムではありませんので注意(ちゅうい)してください。

学習内容(がくしゅうないよう) / Course Contents

①教科書(きょうかしょ)



まるごと日本語 日本のことばと文化 入門 A1「かつどう」
(三修社)

Marugoto: Japanese language and culture
Starter A1 Coursebook for communicative
language activities (Sanshusha)

目次 / 内容一覧:

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/starter_activities_contents.pdf

サンプルページ:

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/starter_activities_sample.pdf



②この科目(かもく)で出(で)てくる文型(ぶんけい)のリスト

List of sentence patterns covered in this course

https://www.waseda.jp/inst/cjl/assets/uploads/2024/11/Short-term_Beginner.pdf

(1) 日本語(短期)入門 / Japanese (Short-term) Beginner

単位数(たんいすう)、授業計画(じゅぎょうけいかく)、成績(せいせき)について

単位数 (たんいすう)	2
事前・事後学習 (じぜん・じご がくしゅう)	予習(よしゅう)として、教科書(きょうかしょ)を読(よ)んでくことを求(もと)めます。 また、授業(じゅぎょう)時間外(じかんがい)に発表(はっぴょう)のための準備(じゅんび)をする必要(ひつよう)があります。文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)が出(で)るときもあります。1回(かい)の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)、復習(ふくしゅう)、宿題(しゅくだい)には平均(へいきん)約(やく)60分(ぷん)～120分(ぷん)かかります。
授業計画 (じゅぎょうけいかく)	●教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)について 月曜日(げつようび)から木曜日(もくようび)は、教科書(きょうかしょ)に沿(そ)って授業(じゅぎょう)をします。CEFRA1レベルのタスクとタスクをするために必要(ひつよう)なことばや文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。 ●コミュニケーション活動(かつどう)について 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)にコミュニケーション活動(かつどう)をします。 日本語話者(にほんごわしゃ)と一緒に(いっしょ)に、グループになって、ことばのゲームをしたり、お互(たが)いの趣味(しゅみ)や好(す)きなことについて話(はな)したりします。 ※スケジュールは変更(へんこう)になる可能性(かのうせい)があります。
成績評価方法 (せいせきひょうか ほうほう)	試験(しけん)：30% ・ まとめクイズ 30% 平常点(へいじょうてん)評価(ひょうか)：70% ・ 課題(かだい) 20% ・ 発表(はっぴょう) 20% ・ クラス参加度(さんかど)、出席(しゅっせき)など 30%

(2) 日本語(短期)I / Japanese (Short-term) I

このクラスは入門期(にゅうもんき)の勉強(べんきょう)がおわった人(ひと)のための初級(しょきゅう)クラスです。教科書(きょうかしょ)をつかった授業(じゅぎょう)と、コミュニケーション活動(かつどう)の2種類(しゅるい)の授業(じゅぎょう)を行います。

- 教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)では、「きく」「よむ」「はなす」「かく」の4技能(ぎのう)を総合的(そうごうてき)に学習(がくしゅう)します。練習(れんしゅう)やタスクを通(とお)して日本語(にほんご)で「できること」を増(ふ)やします。基本的(きほんてき)なことばと文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)します。
- コミュニケーション活動(かつどう)では、毎週(まいしゅう)1回、調(しら)べたことを日本語(にほんご)で発表(はっぴょう)したり、日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューしてその結果(けっか)を発表(はっぴょう)したりします。

目標(もくひょう)、レベル / Objective, Level

レベル	CEFR A2 / CJL Standards 1(後半_こうはん) / 初級前半(しょきゅうぜんはん)レベル
到達目標 (とうたつもくひょう)	1. かんたんな日常(にちじょう)会話(かいわ)やインタビューができる。 2. 日本語(にほんご)でかんたんな発表(はっぴょう)をすることができる。 3. 身近(みぢか)なことについて書(か)かれたかんたんな文章(ぶんしょう)を読(よ)むことができる。 4. 自分(じぶん)のことを短(みじか)い文章(ぶんしょう)で書(か)くことができる。
プログラムの じゅこう ひつよう 受講に必要な にほんごのうりよく 日本語能力	✓ ひらがなとカタカナを読(よ)んで書(か)くことができます。 ✓ あいさつをしたり、かんたんな質問(しつもん)にこたえることができます。 ✓ 自分(じぶん)のことをかんたんに話(はな)すことができます。 ✓ メニューや看板(かんばん)の文字(もじ)を、絵(え)や写真(しゃしん)をみながら読(よ)むことができます。 ✓ ひらがなとカタカナで名前(なまえ)や住所(じゅうしょ)など、かんたんな情報(じょうほう)を書(か)くことができます。

学習内容(がくしゅうないよう) / Course Contents

①教科書 / Textbook



まるごと日本語 日本のことばと文化 初級1 A2「かつどう」
(三修社)

Marugoto: Japanese Language and Culture
Elementary1 A2 Coursebook for communicative
language activities" (Sanshusha)

目次 / 内容一覧:

https://marugoto.jp/assets/docs/about/elementary1_activities_contents.pdf

サンプルページ:

https://marugoto.jp/assets/docs/about/elementary1_activities_sample.pdf

②この科目(かもく)で出(で)てくる文型(ぶんけい)のリスト

List of sentence patterns covered in this course

https://www.waseda.jp/inst/cjl/assets/uploads/2024/11/Short-term_one.pdf

(2) 日本語(短期)I / Japanese (Short-term) I

単位数(たんいすう)、授業計画(じゅぎょうけいかく)、成績(せいせき)について

単位数 (たんいすう)	2
事前・事後学習 (じぜん・じご がくしゅう)	予習(よしゅう)として、教科書(きょうかしょ)を読(よ)んでくることを求(もと)めます。 また、授業(じゅぎょう)時間外(じかんがい)に発表(はっぴょう)のための準備(じゅんび)をする必要(ひつよう)があります。文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)が出(で)るときもあります。1回(かい)の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)、復習(ふくしゅう)、宿題(しゅくだい)には平均(へいきん)約(やく)60分(ぷん)～120分(ぷん)かかります。
授業計画 (じゅぎょうけいかく)	●教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)について 月曜日(げつようび)から木曜日(もくようび)は、教科書(きょうかしょ)に沿(そ)って授業(じゅぎょう)をします。CEFRA2レベルのタスクとタスクをするために必要(ひつよう)なことばや文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。 ●コミュニケーション活動(かつどう)について 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)にコミュニケーション活動(かつどう)をします。コース前半(ぜんはん)の活動(かつどう)は「おすすめの場所(ばしょ)」について調(しら)べて発表(はっぴょう)する活動(かつどう)です。個人(こじん)で発表(はっぴょう)します。コース後半(こうはん)の活動(かつどう)はインタビュー活動(かつどう)です。日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューをして、その結果(けっか)をまとめて発表(はっぴょう)します。グループ活動(かつどう)です。
成績評価方法 (せいせきひょうか ほうほう)	試験(しけん) : 30% ・ まとめクイズ 30% 平常点(へいじょうてん)評価(ひょうか) : 70% ・ 課題(かだい) 20% ・ 発表(はっぴょう) 30% ・ クラス参加度(さんかど)、出席(しゅっせき)など 20%

(3) 日本語(短期)Ⅱ / Japanese (Short-term) Ⅱ

このクラスは初級(しょきゅう)後半(こうはん)クラスです。教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)と、コミュニケーション活動(かつどう)の2種類(しゅるい)の授業(じゅぎょう)を行います。

- 教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)では、「きく」「よむ」「はなす」「かく」の4技能(ぎのう)を総合的(そうごうてき)に学習(がくしゅう)します。練習(れんしゅう)やタスクを通(とお)して日本語(にほんご)で「できること」を増(ふ)やします。基本的(きほんてき)なことばと文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)します。
- コミュニケーション活動(かつどう)では、毎週(まいしゅう)1回、調(しら)べたことを日本語(にほんご)で発表(はっぴょう)したり、日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューしてその結果(けっか)を発表(はっぴょう)したりします。

目標(もくひょう)、レベル / Objective, Level

レベル	CEFR A2.2 / CJL スタンダードズ 2 / 初級後半(しょきゅうこうはん)レベル
到達目標 (とうたつもくひょう)	1. 日常会話(にちじょうかいわ)やインタビューができる。 2. 調(しら)べたことについて発表(はっぴょう)し、簡単(かんたん)な意見(いけん)を言(い)うことができる。 3. アンケート結果(けっか)などを読(よ)むことができる 4. 自分(じぶん)の出身地(しゅっしんち)を紹介(しょうかい)するための簡単(かんたん)な文章(ぶんしょう)を書(か)くことができる。
プログラムの じゅこう ひつよう 受講に必要な にほんごのうりよく 日本語能力	✓ かんたんな日常会話(にちじょうかいわ)やかんたんなインタビューができる。 ✓ 日本語(にほんご)でかんたんな発表(はっぴょう)をすることができる。 ✓ 身近(みぢか)なことについて書(か)かれたかんたんな文章(ぶんしょう)を読(よ)むことができる。 ✓ 自分(じぶん)のことを短(みぢか)い文章(ぶんしょう)で書(か)くことができる。

学習内容(がくしゅうないよう) / Course Contents

①教科書 / Textbook



まるごと日本語 日本のことばと文化 初級2 A2「かつどう」
(三修社)

Marugoto: Japanese Language and Culture
Elementary2 A2 Coursebook for communicative
language activities (Sanshusha)

目次 / 内容一覧:

https://marugoto.jp/assets/docs/about/elementary2_activities_contents.pdf

サンプルページ:

https://marugoto.jp/assets/docs/about/elementary2_activities_sample.pdf

②この科目(かもく)で出(で)てくる文型(ぶんけい)のリスト

List of sentence patterns covered in this course

https://www.waseda.jp/inst/cjl/assets/uploads/2024/11/Short-term_two.pdf

(3) 日本語(短期)Ⅱ / Japanese (Short-term) Ⅱ

単位数(たんいすう)、授業計画(じゅぎょうけいかく)、成績(せいせき)について

単位数 (たんいすう)	2
事前・事後学習 (じぜん・じご がくしゅう)	予習(よしゅう)として、教科書(きょうかしょ)を読(よ)んでくることを求(もと)めます。 また、授業(じゅぎょう)時間外(じかんがい)に発表(はっぴょう)のための準備(じゅんび)をする必要(ひつよう)があります。文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)が出(で)るときもあります。1回(かい)の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)、復習(ふくしゅう)、宿題(しゅくだい)には平均(へいきん)約(やく)60分(ぷん)～120分(ぷん)かかります。
授業計画 (じゅぎょうけいかく)	●教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)について 月曜日(げつようび)から木曜日(もくようび)は、教科書(きょうかしょ)に沿(そ)って授業(じゅぎょう)をします。CEFRA2.2レベルのタスクとタスクをするために必要(ひつよう)なことばや文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。 ●コミュニケーション活動(かつどう)について 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)にコミュニケーション活動(かつどう)をします。コース前半(ぜんはん)の活動(かつどう)は「日本(にほん)の印象(いんしょう)」について調(しら)べて発表(はっぴょう)する活動(かつどう)です。個人(こじん)で発表(はっぴょう)します。コース後半(こうはん)の活動(かつどう)はインタビュー活動(かつどう)です。日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューをして、その結果(けっか)をまとめて発表(はっぴょう)します。グループ活動(かつどう)です。
成績評価方法 (せいせきひょうか ほうほう)	試験(しけん)：30% ・ まとめクイズ 30% 平常点(へいじょうてん)評価(ひょうか)：70% ・ 課題(かだい) 20% ・ 発表(はっぴょう) 30% ・ クラス参加度(さんかど)、出席(しゅっせき)など 20%

